

# スクエアルーフラック JC74用 取扱説明書

このたびは、シーエルリンク製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

製品を正しく安全にご使用いただくために、あらかじめ本書をよくお読みのうえ、内容をご理解ください。

## 商品内容

| 番号 | 名 称            | 略 図 | 数 量 |
|----|----------------|-----|-----|
| ①  | フロントパネル        | -   | 1   |
| ②  | 右サイドパネル        | -   | 1   |
| ③  | 左サイドパネル        | -   | 1   |
| ④  | リアパネル          | -   | 1   |
| ⑤  | センターバー         | -   | 8   |
| ⑥  | M8x20 六角穴付きボルト | -   | 63  |
| ⑦  | 六角穴付きボルトキャップ   | -   | 18  |
| ⑧  | M8ナット          | -   | 35  |
| ⑨  | M8平ワッシャー       | -   | 105 |
| ⑩  | M8スプリングワッシャー   | -   | 17  |
| ⑪  | M8x25 六角ボルト    | -   | 17  |
| ⑫  | 六角ボルトキャップ      | -   | 12  |

| 番号 | 名 称        | 略 図  | 数 量 |
|----|------------|--|-----|
| ⑬  | フロントランプステー |   | 4   |
| ⑭  | リアランプステー   |   | 2   |
| ⑮  | 固定用ブラケットA  |   | 6   |
| ⑯  | 固定用ブラケットB  |   | 6   |
| ⑰  | 補強プレートA    |   | 4   |
| ⑱  | 補強プレートB    |  | 2   |

※ボルト、ナット、ワッシャーの各5個は予備となります。

補修用保護パッドは脱着等でパットが破損した場合ご使用ください。

## 適合型式

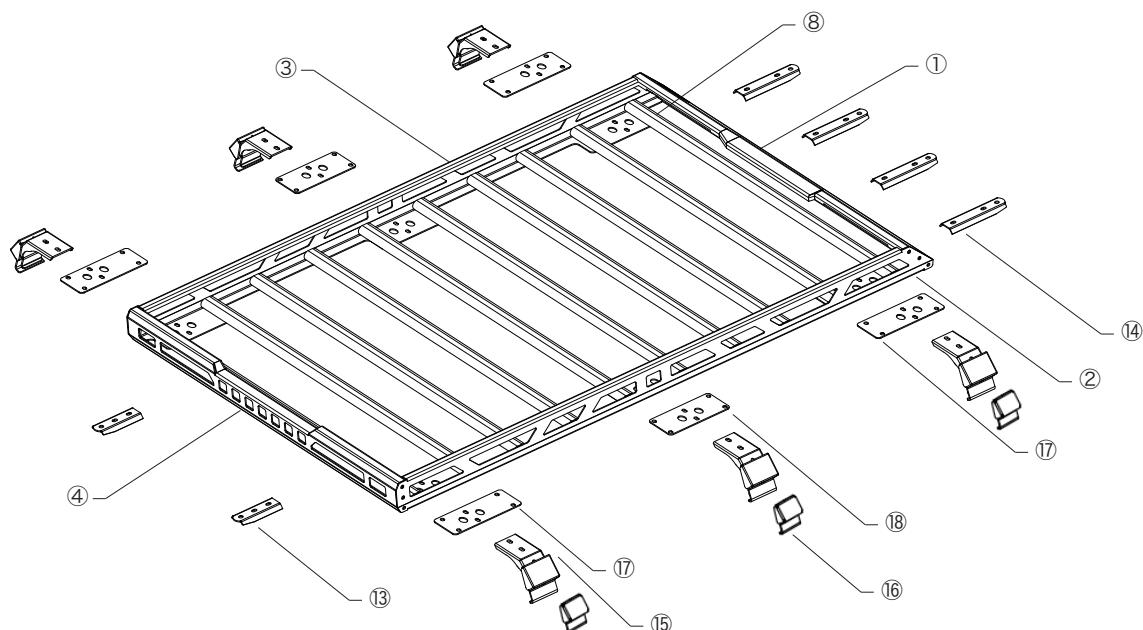
SUZUKI ジムニー ノマド JC74

## 取付動画



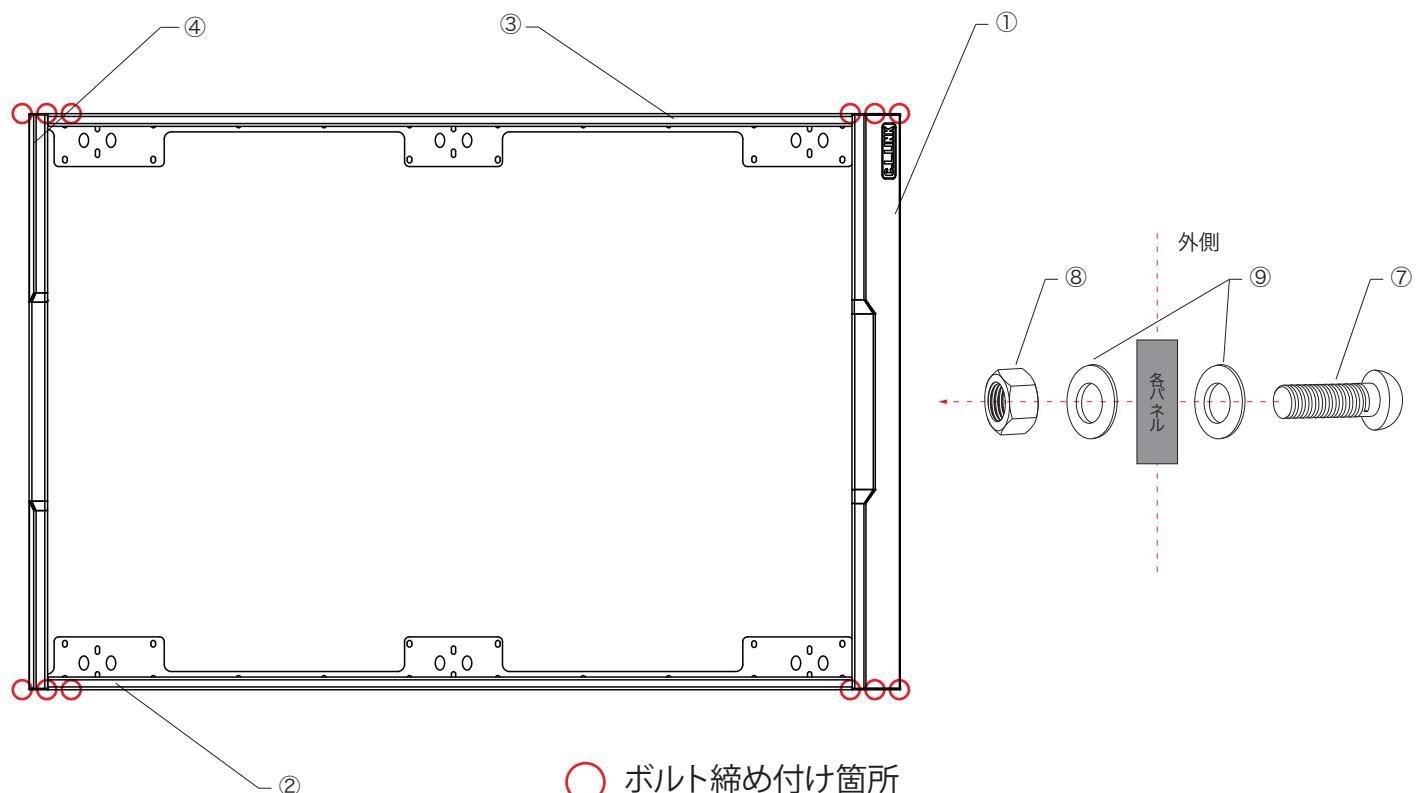
※JB64 / JB74用の取り付け動画になります。  
部品点数は異なりますが、作業内容は同じです。

## 組み立て配置図



## 1 パネルの組み立て

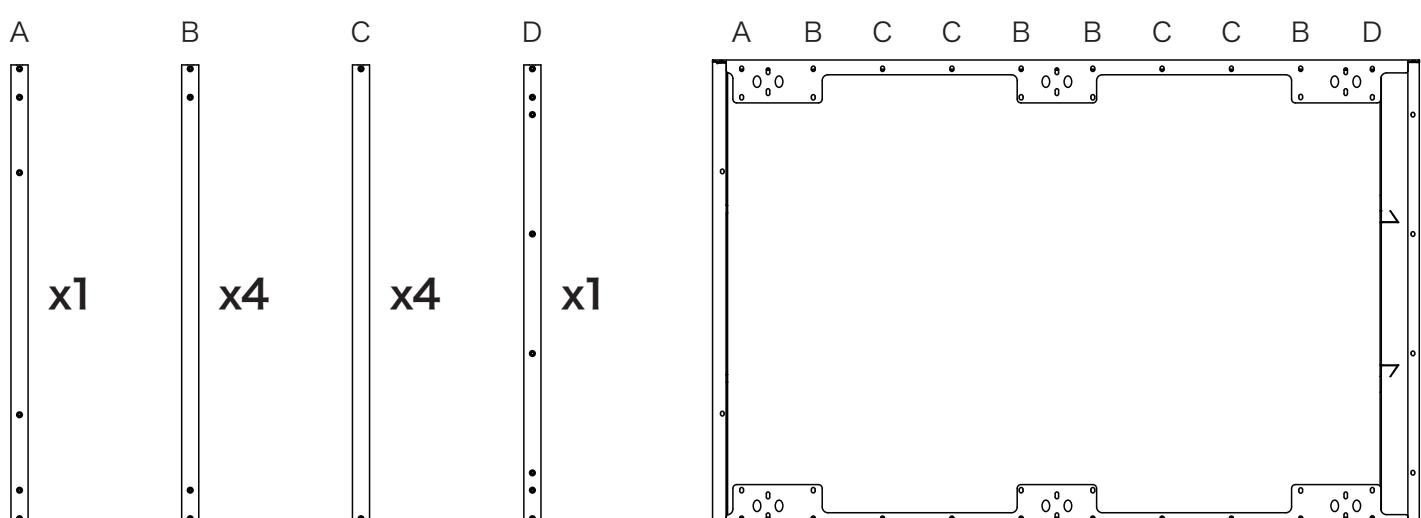
- フロントパネル、サイドパネル左右、リアパネルの本体パーツをM8x20六角穴付きボルト→平ワッシャー→各パネル→平ワッシャー→ナットの順で仮締めします。



## 2 センターバーの組み立て

- ①センターバーの取り付け位置を確認します。

**POINT** センターバーはボルト穴位置違い4種類、合計10本となります。  
下記のイラストを参考に取り付け位置を確認してください。



## 2 の続き

②本体とセンターバーをM8x20六角穴付きボルトと平ワッシャーを使用し仮締めします。

このとき、本体の最下部に補強プレートをあてがい、同時に固定します。

ボルト類は仮締めとしてください。

**POINT** 補強プレートには2つの種類と裏表があります。サイドプレートの穴位置と合う箇所に固定してください。

## A ランプステーの取り付け(ルーフラックに作業灯などを取り付ける場合)

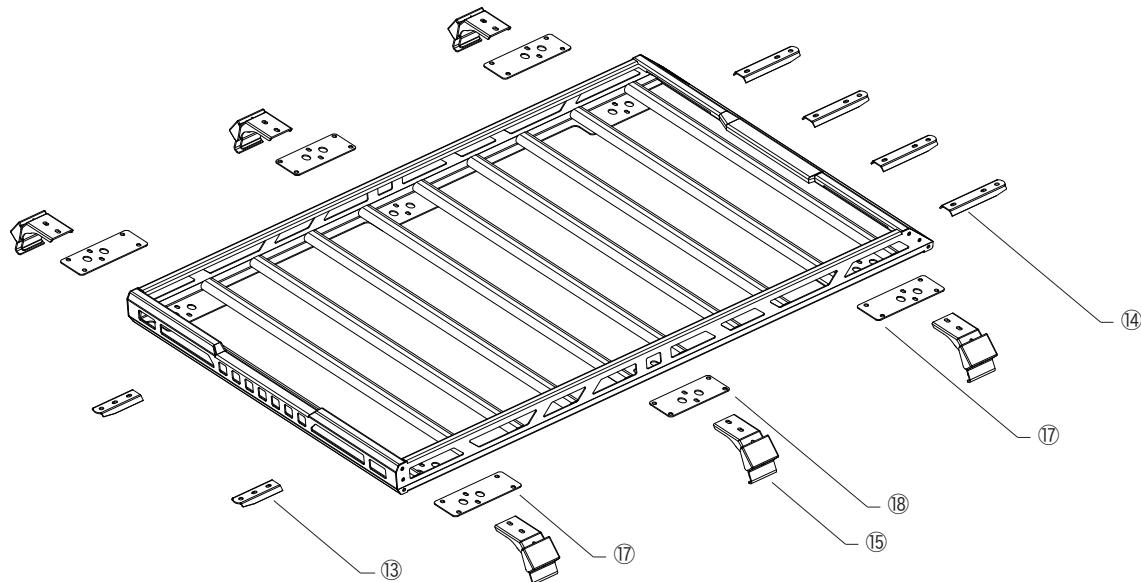
●前後のランプステーをバー側はM8x20六角穴付きボルト、平ワッシャーで、プレート側はボルト・ナット・平ワッシャーを使用して固定します。ランプステーは、追加する作業灯の光軸がやや下を向くように取り付けてください。

**POINT** ランプステーはフロント用・リア用の2種類があります。下記のイラストを参考に、取り付け位置を確認してください。

## 3 固定用ブラケットAの取り付け

●M8x25六角ボルト→平ワッシャー→本体→補強プレート→固定用ブラケットA→平ワッシャー→スプリングワッシャー→ナットの順で仮締めします。

**POINT** 補強プレートはA・Bの2種類があります。下記のイラストを参考に、取り付け位置を確認してください。



## 4 各ボルト本締め

●固定用ブラケットA以外のボルトを本締めします。

## 5 車体への取り付け

①固定用ブラケットAの位置を微調整しながら、ルーフラックを車両ルーフのレインガーターに乗せます。

**▲注意** 純正2トーンカラーの一部車両は、固定用ブラケットAと重なる部分の純正レインガーターモールをカットする必要があります。

**▲注意** 製品の落下による事故や車両の損傷を防ぐため、必ず2人以上で作業してください。

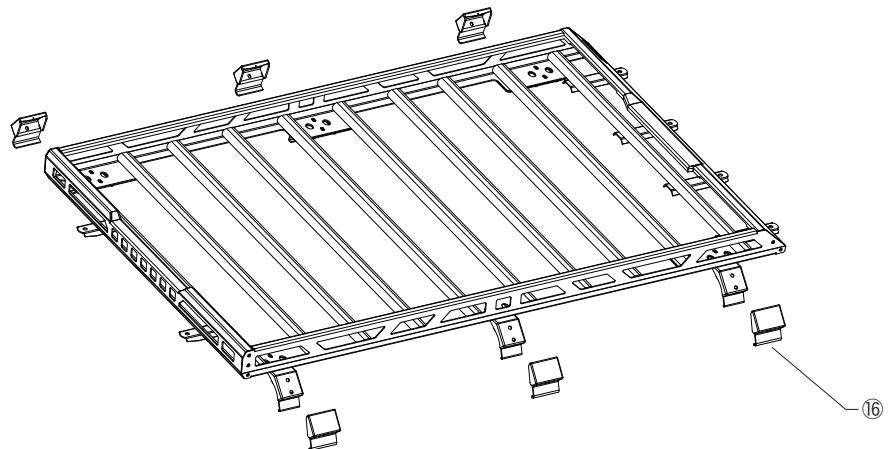
②純正レインガーターに固定用ブラケットAがしっかりと密着する位置にくるよう、全体のバランスを調整します。

**POINT** 車体とルーフラック左右位置にも注意してバランスを調整してください。

③固定用ブラケットBをM8x25六角穴付きボルト、平ワッシャーを使用して固定用ブラケットAにヘラ締めします。

④固定用ブラケットA→固定用ブラケットBの順番でボルト類を本締めします。

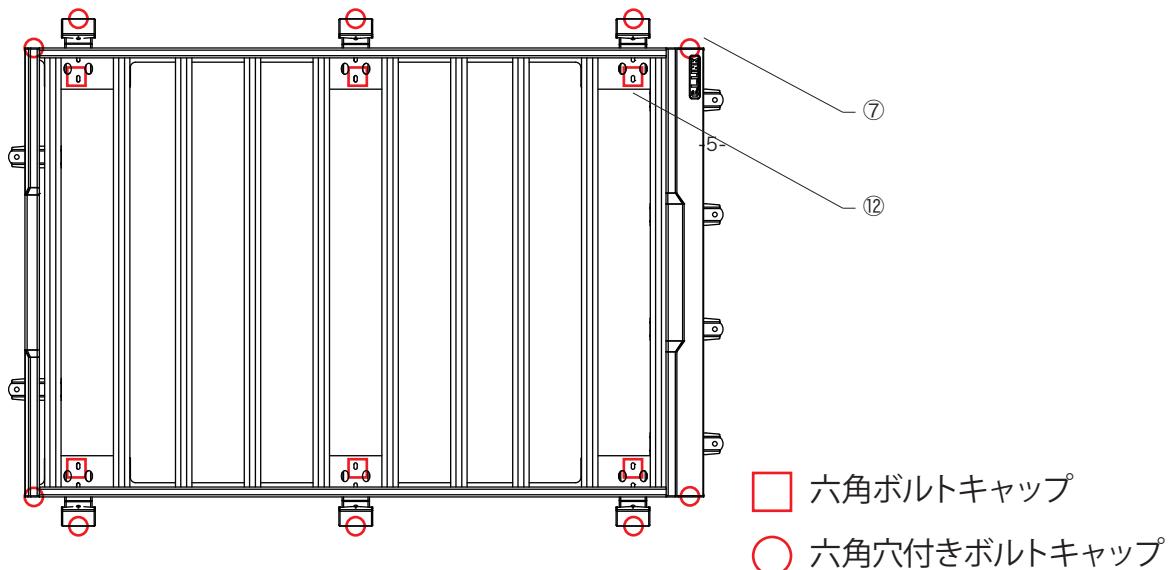
**▲注意** 固定用ブラケットBのボルトの締め付けトルクに注意してください。トルクが強すぎると、純正レインガーターの変形を、トルク不足はドアとの干渉やルーフラックの脱落など、トラブルの原因となります。



## 6 最終チェック

①ルーフラックがしっかりと車両に固定されていること、ドア開閉時にドアとの干渉がないことを確認します。

②下図の箇所にボルトキャップを装着して作業完了です。



## △注意

- ルーフラックの取り付け作業は、必ず2人以上で行ってください。
- 走行前および走行後には、必ず全てのボルト類の緩みやガタつきを点検し、必要に応じて増し締めしてください。  
緩みやガタつきがある状態で走行すると、ルーフラックの脱落や事故の原因となります。
- ルーフラック装着時および積載時は車高が高くなります。法定速度以下で安全運転を行い、急ハンドル・急発進・急ブレーキは避けてください。また、屋根付き駐車場・トンネル・高架・木の枝など高さ制限のある場所では十分に注意してください。
- 走行前には、製品にクラックや破損がないことを必ず確認してください。破損がある場合は使用を中止してください。  
そのまま使用すると積載物の落下など重大事故につながるおそれがあります。
- 落下物は落とし主の責任となります。運行前に必ず積載物が確実に固定され、安全に運行できる状態であることを確認してください。固定が不十分な場合、積載物が落下して後続車や歩行者を事故に巻き込むおそれがあります。
- 積載物は高く積み上げたり、片寄せたり、斜めに積載しないでください。誤った積載方法は積載物の落下を招き、事故の原因となります。
- 悪天候(強風・豪雨・降雪など)や悪路走行時は、積載物の固定状態をより頻繁に確認してください。
- ルーフラックの長さ・幅を超える積載はできません。
- 長時間車両から離れる場合は、必ず荷物を降ろしてください。
- 製品を装着したまま洗車機を使用しないでください。車両や洗車機の故障・破損の原因となります。  
洗車機を使用する際は、ルーフラックを取り外してください。
- 車両ルーフの耐荷重を超える荷物は積載しないでください。必ず車両の取扱説明書をご確認ください。  
車両ルーフやルーフレール、レインガーターの変形などについては保証いたしかねます。
- 本製品の改造は行わないでください。
- 危険ですので、ルーフラックの上に人が乗らないでください。
- 動物、可燃性・爆発性物質、その他の危険物はルーフラックに載せないでください。

**C.L.LINK**  
CUSTOM PARTS